

## 上川中部地域推進方針の進捗状況

【令和 年度（ 年度）】

北海道上川総合振興局保健環境部保健行政室  
（北海道上川保健所）

## 目 次

01	がんの医療連携体制	1
02	脳卒中の医療提供体制	2
03	心筋梗塞等の心血管疾患の医療提供体制	3
04	糖尿病の医療提供体制	4
05	精神疾患の医療提供体制	5
06	救急医療体制	6
07	災害医療体制	7
08	<u>新興感染症の発生・まん延時における医療体制</u>	8
09	<u>へき地医療体制</u>	9
10	<u>周産期医療体制</u>	10
11	<u>小児医療体制(小児救急医療を含む)</u>	11
12	<u>在宅医療の提供体制</u>	12
	【その他】 歯科保健医療対策	14
	(参考) <u>北海道医療計画(令和6～11年度)における指標</u>	
	・ がん	15
	・ 脳卒中	
	・ 心筋梗塞等の心血管疾患	16
	・ 糖尿病	
	・ 精神医療	17
	・ 救急医療	
	・ 災害医療	18
	・ <u>新興感染症の発生・まん延時における医療</u>	
	・ へき地医療	19
	・ 周産期医療	
	・ 小児医療(小児救急医療を含む)	
	・ 在宅医療	20

# 「上川中部地域推進方針」の推進状況【令和●年度(●年度)】

上川中部圏域

## 01 がんの医療連携体制

### 1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)		地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
			現状値	目標値 (R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	がん診療連携拠点病院(か所)		3	現状維持	厚生労働省がん対策情報(令和6年度)							
	北海道がん診療連携指定病院		2	現状維持	北海道保健福祉部調査指定病院の公表医療機関(平成6年度)							
実施件数等	がん検診受診率(%)	胃	5.6	60.0	地域保健・健康増進事業報告(令和4年度)							
		肺	4.5	60.0	地域保健・健康増進事業報告(令和4年度)							
		大腸	5.9	60.0	地域保健・健康増進事業報告(令和4年度)							
		子宮頸	19.1	60.0	地域保健・健康増進事業報告(令和4年度)							
		乳	18.6	60.0	地域保健・健康増進事業報告(令和4年度)							
	喫煙率(%)		26.8	現状より減少	NDB オープンデータより算出(第9回(令和3年度実績))							
住民の健康状態等	がんによる死亡率(人口10万対)	男性	500.1	現状より減少	地域情報保健年報より算出(令和3年度)							
		女性	347.1	現状より減少	地域情報保健年報より算出(令和3年度)							

### 2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

02 脳卒中の医療連携体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)		地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
			現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	急性期医療を担う医療機関数(か所)		4	現状維持	北海道保健福祉部調査 急性期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)							
	回復期医療を担う医療機関数(か所)		16	現状維持	北海道保健福祉部調査 回復期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)							
	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数		13	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和5年4月1日現在)							
実施件数等	喫煙率(%) <u>(40歳～74歳)</u>		26.8	現状より減少	NDBオープンデータより算出 (第9回(令和3年度実績))							
	特定健診受診率(%)		33.1	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導実施結果 集計表「北海道国民健康保険連合会」 (令和4年)							
	特定保健指導実施率(%)		46.9	現状より増加								
住民の健康状態等	高血圧の改善(40～74歳) 収縮期血圧の平均値mmHg	男性	130.1	現状より減少	NDBオープンデータより算出 (第9回(令和3年度実績))							
		女性	125.2	現状より減少								
	脳血管疾患死亡率(人口10万対)	男性	122.0	現状より減少	R3年度地域保健情報年報(北海道保健福祉部健康安全局地域保健課)の データをもとに算出							
		女性	96.3	現状より減少								

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

03 心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)		地域推進方針における指標			実績数値					令和●年度(●年度)の評価	
			現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10		R11
体制整備	急性期医療を担う医療機関数(か所)		6	現状維持	北海道保健福祉部調査 急性期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)							
	心大血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数(か所)		7	現状より増加	診療報酬施設基準[厚生労働省] (令和5年4月1日現在)							
	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(か所)		1	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和5年4月1日現在)							
実施件数等	喫煙率(%)(40歳~74歳)		26.8	現状より減少	NDBオープンデータより算出 (第9回(令和3年度実績))							
	特定健診受診率(%)		33.1	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導実施結果 集計表[北海道国民健康保険連合会] (令和4年)							
	特定保健指導実施率(%)		46.9	現状より増加								
住民の健康状態等	高血圧の改善(40~74歳) 収縮期血圧の平均値mmHg	男性	130.1	現状より減少	NDBオープンデータより算出 (第9回(令和3年度実績))							
		女性	125.2	現状より減少								
	急性心筋梗塞死亡率(人口10万対)	男性	43.6	現状より減少	地域保健情報年報(北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課)のデータをも とに算出 (令和3年度)							
		女性	23.3	現状より減少								

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

04 糖尿病の医療連携体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)		地域推進方針における指標			実績数値					令和●年度(●年度)の評価	
			現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10		R11
体制整備	特定健診受診率(%)		33.1	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導実施結果集計表 [北海道国民健康保険連合会] (令和4年)							
	特定保健指導実施率(%)		46.9	現状より増加								
実施件数等	糖尿病治療継続者の割合(20歳以上)		63.3 (全道値)	現状より増加	健康づくり道民調査 (令和4年)							
	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(か所)		87	現状より増加	旭川地区糖尿病地域連携協議会登録数 (令和5年)							
住民の健康状態等	HbA1c値が6.5%以上の者の割合(40~74歳)	男性	10.2	現状より減少	NDBオープンデータ [厚生労働省](令和3年)							
		女性	5.1	現状より減少								
	糖尿病性腎症による新規人工透析導入患者数(人)		688 (全道値)	現状より減少	日本透析医学会調べ「わが国の慢性透析療法の現況」 (令和3年度)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

05 精神疾患の医療連携体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	認知症疾患医療センターの整備数(医療機関数)	2	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年)							
住民の健康状態等	慢性期入院患者数(65歳以上)(人)	263	現状より減少	厚生労働省精神保健福祉資料(令和4年度)							
	慢性期入院患者数(65歳未満)(人)	261	現状より減少	厚生労働省精神保健福祉資料(令和4年度)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

06 救急医療体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	在宅当番医制等初期救急医療の確保市町村割合(%)	100	100	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)							
	病院郡輪番制の実施医療機関数	5	5	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)							
	救命救急センターの整備数	2	2	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)							
	道北ドクターヘリの運航圏	道北圏、オホーツク圏、空知管内及び十勝圏の一部	道北圏、オホーツク圏、空知管内及び十勝圏の一部	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)							
実施件数等	救急法等講習会(一般住民対象)の実施数(消防署)	3	3	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)							
	救急自動車による搬送時間が1時間以上の救急患者割合(%)	9.6 (全国平均:12.8)	現状より減少	上川保健所調べ(令和3年度分調査)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性



07 災害医療体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	災害拠点病院数	2	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和5年7月現在)							
	北海道DMAT指定医療機関整備数	2	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和5年7月現在)							
	災害拠点病院における耐震化整備施設数	2	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和5年7月現在)							
	EMIS操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合(%)	25	100	北海道保健福祉部調査 (令和5年7月現在)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

08 新興感染症の発生・まん延時における医療体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備 (流行初期)	病床数(床)	=	220	新型コロナ発生約1年後(2020年12月)の入院患者数等を目安とし、第二次医療圏ごとに設定							
	発熱外来機関数(機関)	=	6	新型コロナ発生約1年後(2020年12月)の新型コロナの診療・検査機関数(200床以上)を目安として、第二次医療圏ごとに設定することを基本としつつ、各圏域の医療状況など地域実情を鑑みて医療機能を確保							
体制整備 (流行初期期間 経過後)	病床数(床)	=	267	新型コロナ対応で確保した最大の体制(2022年12月)の入院患者数等を目安とし、第二次医療圏ごとに設定							
	発熱外来機関数(機関)	=	89	新型コロナ対応で確保した最大の体制(2022年12月時点)を目安とし、第二次医療圏ごとに設定							
	自宅療養者等への医療提供機関数<病院・診療所・訪問看護事業所>(機関)	=	88	新型コロナ対応で確保した最大の体制(自宅療養者等への医療提供機関数)を目安に第二次医療圏ごとに設定							
	自宅療養者等への医療提供機関数<薬局>(機関)	=	77	新型コロナ対応で確保した最大の体制(後方支援を行う医療機関数)を目安に第二次医療圏ごとに設定							
	後方支援を行う医療機関数(機関)	=	7	新型コロナ対応で確保した最大の体制の派遣可能な人材数							
	派遣可能な医療人材数<医師>(人)	=	=	新型コロナ対応で確保した最大の体制の派遣可能な人材数							
	派遣可能な医療人材数<看護師>(人)	=	=								
実施件数等	個人防護具を2ヶ月分以上確保している協定締結医療機関の割合(%)	=	80	協定を締結した病院、診療所、訪問看護事業所の8割以上が、個人防護具の使用量2か月分以上を備蓄							
	研修等を年1回以上実施等している協定締結医療機関の割合(%)	=	100	協定を締結した全医療機関で実施							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

08 へき地医療体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	へき地診療所数(か所)	6	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和6年1月11日末)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

09 周産期医療体制

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)		地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
			現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	分娩を取り扱う医療機関数(か所)		6	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月)							
	産科・産婦人科を標榜する病院、診療所の助産師外来開設割合(%)		23.1	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月)							
	総合周産期母子医療センター(指定)の整備医療機関数		0(認定1)	現状維持	北海道指定(令和5年4月)							
	地域周産期母子医療センター整備医療機関数		2	現状維持	北海道認定(令和5年4月)							
安全に出産できる体制	新生児死亡率(千対)	旭川市	0.5	現状より減少	北海道保健統計年報(令和3年)							
		上川保健所管内	3.9	現状より減少	北海道保健統計年報(令和3年)							
	周産期死亡率(千対)	旭川市	3.8	現状より減少	北海道保健統計年報(令和3年)							
		上川保健所管内	3.9	現状より減少	北海道保健統計年報(令和3年)							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

10 小児医療体制(小児救急医療を含む)

1 推進状況及び評価

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人)	24.5	現状維持	医師・歯科医師・薬剤師調査 [厚生労働省] (令和4年度)							
	小児の訪問看護を実施している訪問看護事業所数	1	現状維持	NDB(訪問看護レセプト) [厚生労働省](令和4年度)							
	小児の訪問診療を実施している医療機関数	0	現状より増加	NDB[厚生労働省] (令和4年度)							
体制確保に係る圏域	小児二次救急医療体制の参加医療機関数	1	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和5年)							
	北海道小児地域医療センター及び北海道小児地域支援病院数	2	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和4年)							
住民の健康状態等	乳児死亡率(人口千対)	1.64	現状より減少	令和4年度人口動態統計 [厚生労働省]							

2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性

11 在宅医療の提供体制

指標区分	指標名(単位)	地域推進方針における指標			実績数値						令和●年度(●年度)の評価
		現状値	目標値(R11)	現状値の出典(年次)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
体制整備	訪問診療を実施している医療機関数(人口10万人対)(医療機関数)	15.4	現状より増加(医療需要の伸び率から推計)	NDB[厚生労働省](平成30年度)							
	機能強化型の在宅療養支援診療所又は病院数	12	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和4年度)							
機能ごとの体制等	退院支援を実施している診療所又は病院数	20	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)							
	在宅療養後方支援病院数	2	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和6年)							
	在宅看取りを実施する医療機関数	30	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)							
多職種の取組み確保等	24時間体制の訪問看護ステーション数	42	現状より増加	介護サービス施設・事業所調査[厚生労働省](令和4年)							
	歯科訪問診療を実施している医療機関数	66	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)							
	訪問口腔衛生指導を実施している医療機関数	20	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)							
	①訪問薬剤管理指導 ②居宅療養管理指導を実施する薬局数	①35 ②112	現状より増加	NDB、介護DB[厚生労働省](令和4年度)							
	地域支援体制加算届出のある薬局数	82	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年度)							
	訪問リハビリテーションを実施している医療機関、介護老人保険福祉施設、介護医療院数	25	現状より増加	NDB、介護DB[厚生労働省](令和4年度)							
	訪問栄養食事指導を実施している医療機関数(在宅訪問栄養指導料の算定件数)[1か月あたり]	0.1	現状より増加	KDB[厚生労働省](令和2年度)							
実施件数等	訪問診療を受けた患者数[1か月当たり](人口10万人対)(人)	875	現状より増加	KDB[厚生労働省](令和2年度)							
	訪問看護利用者数(医療保険)[1か月あたり]	30.7	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)							
住民の健康状態等	在宅死亡率(%)	19.5	現状より増加	人口動態調査[厚生労働省](令和4年度)							
	在宅ターミナル加算を受けた患者数[1か月当たり](人)	413	現状より増加	NDB[厚生労働省](令和4年度)(在宅ターミナル加算等の算定件数)							

## 2 主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課 題	今後の方向性

【その他】歯科保健医療対策

主な取組の内容等

事業内容	実績(事業名・実施年月・対象者等)	課題	今後の方向性



## 北海道医療計画(令和6～11年度)における指標

### 【がん】

指標区分	指標名(単位)		道 計 画			
			現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	がん診療連携拠点病院数(か所)		21	21	現状より増加	厚生労働省がん対策情報(令和4年)
実施件数等	がん検診受診率(%)	胃	31.8	60.0	現状より増加	令和4年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]
		肺	35.7	60.0	現状より増加	令和4年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]
		大腸	33.4	60.0	現状より増加	令和4年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]
		子宮頸	28.9	60.0	現状より増加	令和4年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]
		乳	28.3	60.0	現状より増加	令和4年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]
		喫煙率(%)		20.1	12.0以下	現状より減少
住民健康状態等	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(%)	男性	94.7	全国平均以下	現状より減少	令和4年度 人口動態調査 [厚生労働省]
		女性	64.9	全国平均以下	現状より減少	令和4年度 人口動態調査 [厚生労働省]

\* 「北海道がん対策推進計画」に準拠

\* 目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値を基本とする。

### 【脳卒中】

指標区分	指標名(単位)		道 計 画			
			現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	急性期医療を担う医療機関数(か所)		54	54	現状維持	北海道保健福祉部調べ 急性期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)
	回復期リハビリテーションが実施可能な医療機関がある第二次医療圏数(医療圏)		21	21	現状維持	北海道保健福祉部調べ 回復期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)
	回復期リハビリテーションが実施可能な医療機関がある第二次医療圏数(医療圏)		15	21	現状より増加	北海道保健福祉部調べ (令和5年4月1日現在)
実施件数等	喫煙率(%)		20.1	12.0以下	現状より減少	令和4年国民生活基礎調査 [厚生労働省]
	特定健診受診率(%)		45.7	70.0	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ [厚生労働省](令和3年)
	特定保健指導実施率(%)		18.4	45.0	現状より増加	
住民健康状態等	高血圧の改善(40～74歳) 収縮期血圧の平均値mmHg	男性	129	124以下	現状より減少	令和2年NDBオープンデータ [厚生労働省]
		女性	124	119以下		
	脳血管疾患患者の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性	88.9	現状より減少	現状より減少	令和2年人口動態統計特殊報告 [厚生労働省]
		女性	56.6	現状より減少		

\* 目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値を基本とする。

**【心筋梗塞等の心血管疾患】**

指標区分	指標名(単位)		道 計 画			
			現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	急性期医療を担う医療機関数(か所)		64	66	現状維持	北海道保健福祉部調べ 急性期医療の公表医療機関 (令和5年4月1日現在)
	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関がある第二次医療圏数(医療圏)		13	21	現状より増加	診療報酬施設基準[厚生労働省] (令和5年4月1日現在)
	地域連携クリティカルパスを導入している第二次医療圏数(医療圏)		6	21	現状より増加	北海道保健福祉部調べ (令和5年4月1日現在)
実 施 件 数 等	喫煙率(%)		20.1	12.0以下	現状より減少	令和4年国民生活基礎調査 [厚生労働省]
	特定健診受診率(%)		45.7	70.0	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ [厚生労働省](令和3年)
	特定保健指導実施率(%)		18.4	45.0	現状より増加	
住 民 健 康 状 態 等	高血圧の改善(40~74歳) 収縮期血圧の平均値mmHg	男性	129	124以下	現状より減少	令和2年NDBオープンデータ [厚生労働省]
		女性	124	119以下		
	心疾患年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性	180.0	現状より減少	現状より減少	令和2年人口動態統計特殊報告 [厚生労働省]
		女性	108.4	現状より減少		

\* 目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値を基本とする。

**【糖尿病】**

指標区分	指標名(単位)		道 計 画			
			現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(か所)		510	598	現状より増加	北海道保健福祉部調べ (令和4年4月1日現在)
実 施 件 数 等	特定健診受診率(%)		45.7	70.0	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ [厚生労働省](令和3年)
	特定保健指導実施率(%)		18.4	45.0	現状より増加	
	糖尿病治療継続者の割合(20歳以上)(%)		63.2	75.0	現状より増加	令和4年健康づくり道民調査
住 民 健 康 状 態 等	HbA1c値が6.5%以上の者の割合(40~74歳)	男性	10	8.0	現状より減少	令和2年NDBオープンデータ [厚生労働省]
		女性	4.7	3.3		
	糖尿病性腎症による新規人工透析導入患者数(人)		662	635	現状より減少	日本透析医学会調べ「わが国の慢性透析療法の現況」(令和3年度)

**【精神医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	認知症疾患医療センター(地域型・連携型)の整備数(圏域数)	14	21	全圏域での設置	北海道保健福祉部調査(令和5年4月時点)
	認知症疾患医療センター(地域型・連携型)の整備数(医療機関数)	24	31	全圏域での設置	北海道保健福祉部調査(令和5年4月時点)
住 民 の 健康状態等	入院後3か月時点での退院率(%)	62.2	68.9	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)
	入院後6か月時点での退院率(%)	77.1	84.5	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)
	入院後1年時点での退院率(%)	85.2	91.0	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)
	慢性期入院患者数(65歳以上)(人)	6,786	5,304	現状より減少	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)
	慢性期入院患者数(65歳未満)(人)	2,848	2,514	現状より減少	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)
	精神病床から退院後の1年以内の地域における平均生活日数(地域平均生活日数)(日)	330.1	330.1	現状維持以上	厚生労働省 精神保健福祉資料 (令和4年度)

\*2 「北海道障がい福祉計画」で設定した目標値を用いる項目は、計画間の整合を図り令和8年度を目標年次とし、令和9年度以降の目標値は達成状況等を考慮し別途決定

**【救急医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	在宅当番医制等初期救急医療の確保市町村割合(%)	100	100	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)
	病院群輪番制の実施第二次医療圏数(医療圏)	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)
	救命救急センターの整備第三次医療圏数(医療圏)	6	6	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)
	ドクターヘリの運航圏の維持(運航圏)	全道運航圏	全道運航圏を維持	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)
実 施 性 数 等	救急法等講習会の実施第二次医療圏数(医療圏)	5	21	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在)
	救急自動車による搬送時間が1時間以上の救急患者割合(%)	12.8	全国平均以下	全国平均以下を維持 (R3:13.1)	北海道総務部「令和4年消防年報」 (令和3年救急救助年報)
救 急 患 者 の 後 援 等	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後生存率(%)	13.7	全国平均以上	全国平均以上を維持 (R3:11.1)	救急・救助の現状「消防庁」 (令和4年度版)
	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後社会復帰率(%)	8.2	全国平均以上	全国平均以上を維持 (R3:6.9)	救急・救助の現状「消防庁」 (令和4年度版)

**【災害医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	災害拠点病院整備第二次医療圏数(医療圏)	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	北海道DMAT指定医療機関整備第二次医療圏数(医療圏)	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	災害拠点病院における耐震化整備率(%)	97	100	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	災害拠点病院における浸水等対策率(%)	73	100	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	災害医療コーディネーター任命数	60	60	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	災害時小児周産期リエゾン任命数	19	19	現状維持	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
実 施 件 数 等	EMIS操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合(%)	40	100	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)
	病院におけるEMIS施設情報(必要電力量/日)の入力率(%)	32	100	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年7月現在)

**【新興感染症の発生・まん延時における医療】**

指標区分	指標名(単位)	目標値	目標値の考え方
体 制 整 備 (流行初期)	病床数(床)	1,734	新型コロナ発生約1年後(2020年12月)の入院患者数等を目安とし、第二次医療圏ごとに設定
	発熱外来機関数(機関)	84	新型コロナ発生約1年後(2020年12月)の新型コロナの診療・検査機関数(200床以上)を目安として、第二次医療圏ごとに設定することを基本にし、つつ、各圏域の医療状況など地域実情を鑑みて医療機能を確保
体 制 整 備 (流行初期期間 経過後)	病床数(床)	2,448	新型コロナ対応で確保した最大の体制(2022年12月)の入院患者数等を目安とし、第二次医療圏ごとに設定
	発熱外来機関数(機関)	1,146	新型コロナ対応で確保した最大の体制(2022年12月時点)を目安とし、第二次医療圏ごとに設定
	自宅療養者等への医療提供機関数<病院・診療所・訪問看護事業所>(機関)	986	新型コロナ対応で確保した最大の体制(自宅療養者等への医療提供機関数)を目安に第二次医療圏ごとに設定
	自宅療養者等への医療提供機関数<薬局>(機関)	1,646	
	後方支援を行う医療機関数(機関)	108	新型コロナ対応で確保した最大の体制(後方支援を行う医療機関数)を目安に第二次医療圏ごとに設定
	派遣可能な医療人材数<医師>(人)	61	
	派遣可能な医療人材数<看護師>(人)	128	新型コロナ対応で確保した最大の体制の派遣可能な人材数
実 施 件 数 等	個人防護具を2ヶ月分以上確保している協定締結医療機関の割合(%)	80	協定を締結した病院、診療所、訪問看護事業所の8割以上が、個人防護具の使用量2か月分以上を備蓄
	研修等を年1回以上実施等している協定締結医療機関の割合(%)	100	協定を締結した全医療機関で実施

**【へき地医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	へき地診療所数(か所)	103	114	現状より増加	北海道保健福祉部調査(令和5年3月31日末)
実施件数等	巡回診療、医師派遣、代診医派遣、遠隔医療による支援のいずれかを実施するへき地医療拠点病院数(か所)	9	20	全へき地医療拠点病院による実施	へき地医療現況調査[厚生労働省](令和4年4月1日現在)
	巡回診療、医師派遣、代診医派遣の年間実績が合算で12回以上のへき地医療拠点病院数(か所)(オンライン診療を活用して行った場合も含む)	5	20	全へき地医療拠点病院による実施	へき地医療現況調査[厚生労働省](令和4年4月1日現在)

**【周産期医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	分娩を取り扱う医療機関数(か所)   15-49歳女性10万人当たり	7.6	全国平均以上	全国平均以上を維持(R2: 7.6)	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在) 医療施設調査(静態)[厚生労働省](令和2年)
	産科・産婦人科を標ぼうする病院、診療所の助産師外来開設割合(%)	23.8	全国平均以上	全国平均以上を維持(R2: 23.1)	北海道保健福祉部調査(令和5年4月現在) 医療施設調査(静態)[厚生労働省](令和2年)
	総合周産期母子医療センター(指定)の整備医療圏数(第三次医療圏)	4	6	第三次医療圏に1か所	北海道指定(令和5年4月現在)
	地域周産期母子医療センター整備医療圏数(第二次医療圏)	21	21	第二次医療圏に1か所	北海道指定(令和5年4月現在)
実施件数等	母体・新生児搬送のうち現場滞在時間が30分以上の件数(人口10万人当たり件数)	2.3	全国平均以下	全国平均以下を維持(R3: 5.4)	救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査(令和3年)
安全に出生できる体制	新生児死亡率(千対)   出生数	1.2	全国平均以下	現状より減少(R4: 0.8)	令和4年人口動態調査[厚生労働省]
	周産期死亡率(千対)   出生数+妊娠満22週以降の死産	3.1	全国平均以下	全国平均以下を維持(R4: 3.3)	令和4年人口動態調査[厚生労働省]
	妊娠婦死亡率(10万対)   出生数+死産数	0.0	全国平均以下	全国平均以下を維持(R4: 4.2)	令和4年人口動態調査[厚生労働省]

\* 目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値を基本とする。

**【小児医療】**

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	小児医療を行う医師数(小児人口1万人対)(人)	16.3	全国平均以上	現状より増加(R2: 18.6)	令和2年 医師・歯科医師・薬剤師統計[厚生労働省]
	小児の訪問看護を実施している訪問看護事業所のある第二次医療圏数(医療圏)	7	21	全圏域での実施	令和3年NDBオープンデータ[厚生労働省]
	小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏)	8	21	全圏域での実施	令和3年NDBオープンデータ[厚生労働省]
体制確保に係る圏域	小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)	20	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調べ(令和5年4月現在)
	北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)	20	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調べ(令和4年4月現在)
実施件数等	小児搬送のうち現場滞在時間が30分以上の件数(人口10万人当たり件数)	86.4	全国平均以下	現状より減少(R3: 86.0)	救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査(令和3年)
住民健康状態等	乳児死亡率(千対)   出生数	2.2	全国平均以下	現状より減少(R4: 1.8)	令和4年人口動態調査[厚生労働省]

\* 目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値を基本とする。

【在宅医療】

指標区分	指標名(単位)	道 計 画			
		現状値	目標値(R11)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体 制 整 備	訪問診療を実施している医療機関数(人口10万人対)(医療機関数)	15.1	23.5	現状より増加 (医療需要の伸び率から推計)	令和2年度 KDB [厚生労働省]
	機能強化型の在宅療養支援診療所又は病院のある在宅医療圏数(医療圏)	12 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度 NDBオープンデータ[厚生労働省]
	在宅医療において積極的役割を担う医療機関のある在宅医療圏(医療圏)	=	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	=
	在宅医療において必要な連携を担う拠点のある在宅医療圏(医療圏)	=	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	=
機能ごとの体制等	退院支援を実施している医療機関のある在宅医療圏数(医療圏)	20 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での実施	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	在宅療養後方支援病院のある在宅医療圏数(医療圏)	10 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	北海道保健福祉部調査 (令和5年4月現在)
	在宅看取りを実施する医療機関のある在宅医療圏数(医療圏)	19 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での実施	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
多職種の取組確保等	24時間体制の訪問看護ステーションのある在宅医療圏数(医療圏)	19 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	歯科訪問診療を実施している診療所のある在宅医療圏数(医療圏)	21 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院がある在宅医療圏域数	20 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度NDBオープンデータ [厚生労働省]
	訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を実施する薬局のある在宅医療圏数(医療圏)	21 (二次医療圏)	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	地域支援体制加算届出薬局のある在宅医療圏数(医療圏)	=	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	訪問リハビリテーションを実施している医療機関、介護老人保健施設、介護医療院のある在宅医療圏数(医療圏)	=	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年度 NDBオープンデータ [厚生労働省]
	訪問栄養食事指導を実施している医療機関のある在宅医療圏数(医療圏)	=	39 (在宅医療圏)	全圏域での確保	令和3年 NDBオープンデータ [厚生労働省]
実 施 件 数 等	訪問診療を受けた患者数[1か月当たり](人口10万人対)(人)	592.7	891.0	現状より増加 (医療需要の伸び率から推計)	令和2年度 KDB [厚生労働省]
	訪問看護利用者数(医療保険)[1ヶ月当たり](人口10万人対)(人)	231.9	367.5	現状より増加 (医療需要の伸び率から推計)	令和3年度 訪問看護療養費実態調査 [厚生労働省]
住 民 の健康状態等	在宅死亡率(%)	18.5	全国平均以上	現状より増加	令和4年 人口動態調査 [厚生労働省]
	在宅ターミナル加算を受けた患者数[1か月当たり](人)	320	全国平均以上	現状より増加	令和2年度 KDB [厚生労働省]

\*「特掲診療科の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」(令和4年3月4日保医発0304第3号厚生労働省保険局医課長通知)に規定する在宅療養支援診療所。

\*在宅療養支援病院。

\*自宅、老人ホーム(養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホーム)での死亡率。

\*目標値の考え方における「現状」は、計画策定時の数値とする。